

あいどく ずかん か
みんなが愛読した図鑑を書いた

木下亀城 きのした かめき

こうぶつ うつく し
《鉱物の美しさを知ってほしい》

げんしよくこうせきずかん
『原色鉱石図鑑』など

いしず あいどくしよ
石好きの愛読書

ほん か
となる本を書いた。

おお たか こえ
大きく高い声

どこからでも

き おお こえ
聞こえる大きな声。

じゅぎょうちゆう
授業中は

そと き
外まで聞こえた。

せ たか
背が高く

たいりよく
体力がある

こくないがい すうひやく こうざん
国内外、数百の鉱山を

み まわ
見て回った。

いち キロメートルいじよう
1日60km以上

ある
歩いたことも!

ペンネームは

ふくい さつお
「福井薩男」

ふくい さつま かごしま
福井と薩摩(鹿児島)に

ちなんだ名前を使った。

つくし えつろう
「筑紫越郎」なども。



くろこう けんきゆうしや
「黒鉱」の研究者

くろこう
「黒鉱」

ゆうよう きんそく ふく こうせき
(有用な金属を含む鉱石)の

けんきゆう
研究で

し
知られた。

りやくれき
略歴

おおの う
大野生まれ (生没年 1896~1974年)

おさな りょうしん うしな かごしまけん ぎけい そだ
幼いころに両親を失い、鹿児島県で義兄に育
てられる。1917年、東京帝国大学(東京大学)
理学部地質学科に入学。卒業後は、福岡鉱
山局や地質調査所などの勤務を経て、1933
年九州帝国大学(九州大学)教授となった。